

Plan

事業名	天竜浜名湖鉄道対策事業			事業類型	内部管理	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	2 款	1 項		8 目	事業1	25	事業2	41
担当部署	部	産業部			課	産業振興課			
総合計画体系	めざすまちの姿	5 調和のとれた便利なまち			基本計画	5-⑤利用しやすい公共交通			
事業の目的	天竜浜名湖鉄道の経営の安定を図り、地域住民の交通手段の確保と地域活性化を図る								
事業の概要	天竜浜名湖鉄道の利用促進と地域のマイルール意識を高め、財政的支援を計画的に行うことで経営を長期安定化する								

Do

事務事業評価

(単位:千円)

		事業内容と活動実績	決算見込額	内、特定財源
平成30 年度		沿線住民のための大切な公共交通手段を維持していく	13,279	0
		合計	13,279	0

Check

成果指標	成果指標名(単位)				H29実績	H30目標	H30実績	R1目標
事業の 評価	判定	判定理由や課題、改善した点など						
	必要性							
	有効性							
	効率性							

Action

事業費				左記についてのコメント
今後の 方向性	拡大	次年度	拡大	各種施策やイベントが継続的な利用促進につながるよう工夫が必要である 他の公共交通機関との相互連携を促進する必要がある 次期経営計画の策定に関する協議をしていく

実施計画

(単位:千円)

事業内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度
沿線住民のための大切な公共交通手段を維持していく	➡		
3か年の合計事業費	87,566		

Plan

事業名	バス事業			事業類型	ソフト	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	2 款	1 項		8 目	事業1	25	事業2	38
担当部署	部	産業部			課	産業振興課			
総合計画体系	めざすまちの姿	5 調和のとれた便利なまち			基本計画	5-⑤利用しやすい公共交通			
事業の目的	市民の日常生活における交通手段の確保を図り、快適な住まい環境を図る。特に、高齢者や通学児童、生徒、通勤者の日常生活の移動手段を確保する								
事業の概要	市民の通勤通学や通院、買い物のための利用の利便を図るために、コミュニティバスを運行をする								

Do

事務事業評価

(単位:千円)

	事業内容と活動実績	決算見込額	内、特定財源
平成30年度	各地区からJR駅へ運行する8路線を車両7台で運行するコミュニティバス事業の実施	63,024	650
	コミュニティバスのダイヤ及びルートの変更		
	自主運行バス(浜名線)のコーちゃんバス化をする		
	合計	63,024	650

Check

成果指標	成果指標名(単位)		H29実績	H30目標	H30実績	R1目標
		コミュニティバス年間利用者数		83,263	100,000	105,697
事業の評価	判定	判定理由や課題、改善した点など				
	必要性	A	市民の通勤通学や通院、買い物のための利用の利便性を図るためにコミュニティバスの運行			
	有効性	A	交通弱者と呼ばれる高齢者や障害者などの通院や買い物、小学生などの通学と市民の通勤などへの利用が図られている。			
	効率性	B	コミュニティバスのバス車両の小型化や運行時間の縮小を行う。より利便性を図るため、利用者が少ない路線の運行方法の見直しを検討する。			

Action

事業費				左記についてのコメント
今後の方向性	縮小	次年度	縮小	利用者の少ない路線の運行方法の見直しを検討するとともに、各地区からJR駅へ運行する8路線7台で運行するコミュニティバス事業の実施をする。また、新たな公共交通であるデマンド型乗合タクシーを白須賀地区で運行し、バス事業の運行を検討する。

実施計画

(単位:千円)

事業内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度
・各地区からJR駅へ運行する8路線を車両7台で運行するコミュニティバス事業の実施 コミュニティバスのダイヤ及びルートの変更	➡		
3か年の合計事業費	218,935		

